
2014年JAPE春季幼年教育研修会報告

◎設置者・園長・後継者研修 ◎主任・リーダー研修 ◎教員研修 ◎新任教師ゼミナール(3日間研修)

2014年3月25日～26日 ◎ルビノ京都堀川



映像によるJAPEの紹介で開会



基調講演／玉木弁立当会理事長

◎全体会 1日目

2014年春季幼年教育研修会（第52回）が京都御所にほど近い「ルビノ京都堀川」を会場に開かれました。開会式に続いての特別講演には、テレビでもおなじみの澤口俊之人間性脳科学研究所所長（武蔵野学院大学・大学院教授）にお越しいただき、「こどもの脳をいかに育むか」のテーマでご講演いただきました。



特別講演の澤口俊之先生

当会はピアジェの発達心理学を基軸にした幼児教育の実践を進めていますが、脳科学の立場から「幼少期の脳の育成について」脳の総合センターともいえる前頭前野の話から、HQ（人間性知能）を中

心にお話しをいただきました。

HQは人間として最重要な知能であるとし、幼児に於けるその向上法までお話しいただきました。

特別講演に続いて、玉木理事長の「なにしているの？どうしてこうするの？子どもたちの好奇心を大切に」～そのために先生たちが指導できること～と題しての基調講演では、大学で学んだ教育理論、心理学が保育現場でどう活かされるのか、永年続けてきた滝澤武久先生の勉強会（SPE）での成果をもとに当会から発行された本『幼稚園 ママと先生のはてなはてな??』から幼児の行動の具体例をあげてお話しいただきました。

基調講演終了後、「新任教師ゼミナール」の先生方はいよいよ開講の会場に移動し、園長、主任、教員研修の3部門での合同研修では、昨年、創刊され現在第3号の発行となった実践保育研究誌『ぴあじえ〜る』の取材協力園に、春・夏の研修会で発表していただくこと企画した保育実践発表は、今回は、日本平幼稚園（静岡市）・川内幼稚園（薩摩川内市）の2園に「幼児にとってのあそびと学習」をテーマに発表いただきました。

先生方は、他園の実際の保育を見る機会は、なかなかありません。2ヶ園それぞれに工夫された保育



保育実践発表① 日本平幼稚園



保育実践発表② 川内幼稚園



保育実践発表風景



保育実践発表／解説・講評の吉村理事、中村講師

のテーマ・設定・導入・展開・留意点、と園での保育の動画を見ながらの保育実践発表は、多いに参考になり、新年度からの保育へのさらなる意欲が喚起されたようです。

◎保育実践発表

- 1 「ゲーム感覚で数に触れる」
日本平幼稚園(静岡県静岡市)
四宮千佳(年長組担任)
太田茉莉奈(年長組担任)
- 2 「思いを伝える描画(表現)活動」
川内幼稚園(鹿児島県薩摩川内市)
野元郁美(年長組担任)

山口静香(年中組担任)

◎解説・講評

吉村文比古(当会副理事長・誠心第二幼稚園園長)

中村真理子(当会研究部講師・四国大学短期大学部講師)



保育実践発表者の表彰



藤原副理事長の乾杯で懇親夕食会の開会

設置者・園長・後継者研修の参加者は

全体会后、夕食懇親会となりました。全国各地からご参加の先生方と講師・賛助会員も交えての情報交換会となりました。

今、最大の関心事である新制度への移行をどうするか、教員採用の状況等話題は尽きず、各テーブル時間いっぱいまで使った賑やかな懇親会となりました。

幼稚園教育運営の最新動向を網羅した研修 設置者・園長・後継者研修

2014年3月25日～26日 ©ルビノ京都堀川

◎2日目・第1講座 9:00～12:00

・園長の役割

「園で起きた様々なトラブル、私はこうして解決しました」



園長の役割／トラブルの解決

・発表者

1. 藤原通晴 (日本平幼稚園園長／静岡・当会副理事長)
2. 伊藤徳久 (九重幼稚園理事長・園長／千葉・当会理事)
3. 八木 学 (町田文化幼稚園副園長／東京)
4. 山口志津子 (北部幼稚園園長／千葉)
5. 玉木弁立 (久里浜幼稚園園長／神奈川・当会理事長)

・司会進行

吉村文比古 (誠心第二幼稚園園長／神奈川・当会副理事長)

2日目朝からの講座は吉村文比古副理事長の司会進行ではじまりました。司会の吉村先生ご自身の経験事例も含め、登壇頂いた各先生から自園でのトラブル事例を発表いただき、どう対処、解決したのか、また、その経験をどう活かしているのかお話しをいただきました。

◎事例

- 1・園庭斜面の防護壁 (1.5m)から飛び降り骨折
- 2・滑り台の逆さ登りの子どもとぶつかり歯の脱臼

3・クリスマスケーキの値段へのクレームから園、

園長へのクレームへと発展 (問題のある保護者)

4・大震災対応で緊急連絡に当会研修での情報からツイッターを採用。他園の情報からなぜNTT伝言ダイヤルを使わないのかとクレーム。同時期の対応で放射能測定器 (中国製) 購入。日本製でなければ信用できないのクレーム。

5・素行の悪い運転手 (60才代) の解雇問題で労働組合と交渉。残業代で解決。

また、園長就任以来、トラブル・クレーム・事故は全くないとお話しされた園長先生の、園運営についての考え方、保護者とのつきあい方等のお話しもいただきました。

結局、事故は0にはできないが、いかに小さいトラブルで済ませることが重要で怪我の場合も、状況を的確に把握し説明、処理し、あやまるだけでなく、今後の対策も説明すること。また、情報は自身で正確に収集し、論理的に説明する。結局は保護者との信頼関係の構築が大事。等で締めくくられました。

◎第2講座 10:40～12:00

「幼児期における特別支援教育」

伊丹昌一

梅花女子大学 心理こども学部心理学科 教授

「発達障がいのある子どもを含めた、困っている子どもへの効果的な支援方法を考える」

のテーマでいただいた伊丹先生の講義は、大阪府健康福祉部障がい保健福祉室 主査、大阪府教育センター 指導主事の経歴から現在も現場での支援教育指導をしておられるとのこと、障がいについての説明に始まり、より具体的な支援方法・環境設定を教育現場の写真も含め、大変分かりやすく、ユーモア

溢れるお話しぶりで、発達障がいとその支援方法については、すでに色々な機会に学んでいる参加の先生方も改めて納得のお話しでした。

■ 講義プログラム (当日資料よりタイトルのみ)

◎特別支援教育とは

・幼稚園教育要領にある教育活動などの留意事項
(2) 障がいのある幼児の指導に当たっては、集団の中で生活することを通して全体的な発達を促していくことに配慮し、特別支援学校などの助言又は援助を活用しつつ (第3章第1-2-2抜粋)

- ・子どもの気になる行動
- ・早期の気づきの大切さ
- ・ことばに注目!
- ・年齢に応じたテーマ
- ・幼児の指導のポイント
- ・幼児の育ちを支える基本
- ・子どもは成長する存在
- ・なぜ、支援教育が必要なのか
- ・「障がい」って?
- ・障がいのとらえ方の変化
- ・不都合はへらせる!

◎発達障がいについて

- ・発達障がいの概要
- ・発達障がいという視点
- ・LDによく見られる特性
- ・LDへの学習支援
- ・LDの子どもたちに学ぶ、学習指導のコツ
- ・ADHDによく見られる特性
- ・ADHDへの教育的支援
(2次的な問題の予防が大きな目標)
- ・子どもの行動の意味を考える
- ・3分割の例 (きっかけ・行動・結果)
- ・ADHDの子どもたちに学ぶ、ほめ方のコツ
- ・ADHDの子どもたちに学ぶ、コントロール力を育てるコツ
- ・ASDによく見られる特性
- ・自閉症スペクトラムへの教育的支援
ADHDへの支援 (基本) + ASDへの配慮
ASDに特に必要な支援



伊丹昌一先生

・注意の仕方
(不定的NG → 肯定的 GOOD)

叱り方 (注意の仕方) のコツ

- ・自閉症スペクトラムの人には
- ・発達障がいと虐待
- ・反応性愛着形成不全 (RAD)
- ・いじめについて

◎支援の実際

- ・子どもの情報を整理する
- ・幼稚園における支援教育をすすめるために
- ・教育のユニバーサルデザイン化
教室の物理的環境を整える (ポイント1)
保育環境を整える (ポイント2)
ユニバーサルデザインの保育 (ポイント3)

・集団づくりと個別の支援

・幼稚園教員の役割

(日)理解者としての役割

(月)共同作業・共鳴する者としての役割

(火)あこがれを形成するモデルとしての役割

(水)遊びの援助者としての役割

(木)心のよりどころとしての役割

・子どもたちの笑顔のために

大人の怒っている顔の向こうには子どもの笑顔はありません

子どもは本人ばかりではなく、子どもを取り巻く環境を調整することによって「大人が期待する行動」を自発的にできる子どもにしましょう!

今日から少しずつ、無理せずやりましょう!

以上

◎第3講座 13:00～14:20

・行政最新情報

「子ども子育て支援制度について」

横田 愛

文部科学省初等中等教育局 幼児教育課課長補佐

・司会／伊藤徳久（当会理事・九重幼稚園園長／千葉市）



文部科学省幼児教育課 横田 愛課長補佐の行政情報

昨年7月開催の夏期研修会につづいて、今春も文部科学省幼児教育課から担当官にお越しいただき、もう間もなく、平成27年度に施行される予定の新法の現段階での進行状況について詳しくお話しをお聞きしました。横田愛課長補佐には、今回特にお願いし当講座に続いて開講の関連シンポジウムの終了まで同席いただき、ご質問にお答えいただいたり、追加のご説明をいただいたりして新法への理解がかなりすすみました。

当会では、春夏の研修会で毎回文科省担当官からその時点での最新情報をお聞きしてきましたので、全体像については既に多くの先生方が理解しておられるようなので、復習程度でお話しいただき、より詳しく各論の説明をいただきました。

この会報が発行される時には、仮公定価格の発表があり、また、意向調査実施時期も明確になっていることと思います。新制度に入るのか、私学助成を受ける今のままでいくのかの、決断を迫られることとなりますが、認定こども園への移行はこれから先、27年度以降いつでも可能ですので、全体の様子を見てから決断するとお考えの先生が多いようにみうけ

られます。

7月25日の夏期研修会横浜会場には、再度、文科省から担当官にお越しいただき最新情報をお聞きする予定です。是非、ご参加ください。

◎第4講座 14:40～16:30

・シンポジウム

行政からの「最新情報」をふまえて

代表者の意見拝聴

・司会／杉崎直人（茅ヶ崎すみれ幼稚園園長／茅ヶ崎市）

・進行

玉木弁立（久里浜幼稚園園長／横須賀市）

押野典生（認定こども園みちび樹〔幼保連携〕
せんだい幼稚園園長／薩摩川内市）

・登壇者

(日) 田原慎也（なあもの森保育園園長／薩摩川内市）
〔幼保連携・認定こども園〕

(月) 小林正英（洛東幼稚園園長／京都市）

(火) 伊藤徳久（九重幼稚園園長／千葉市）



シンポジウムでもお応えいただいた横田 愛課長補佐

ここ何回かの研修会で、新制度への対応についての講座を開いて参りましたが、今回、シンポジウム開講前に急遽、近い将来の大きな人口減少の予測情報をふまえて「10年後をみすえて」のテーマでご参加の先生方からアンケートによりご意見をいただき、新制度への移行と関連し会議が進められました。

まず、京都、千葉、神奈川、鹿児島、また、現認定こども園、幼稚園それぞれのお立場で新制度対応のご意見を伺った後、新制度についての意見交換が

進められました。

■ その他の話題

- ・新制度への対応との関連では、近い将来のさらなる少子化・人口減少も考える必要がある。
- ・施設を増やすことに重点を置いている自治体の政策は？
- ・保育の質の向上、教員の質の向上、保育内容
- ・教員の確保、教員の処遇改善
- ・女性の社会進出推進政策の問題、ワークライフバランス（厚労省で論議中）
- ・子育て環境の改善
- ・保育園の教材使用
- ・現幼稚園の90%が施設給付へ移行することの試算による予算組は現実的ではないのでは？
（今後意向調査の結果をふまえて予算要求）
- ・公立幼稚園の認定こども園への移行はあるか

（ある）

- ・上乗せ徴収の制限について
- ・保育園の運営で、全職員が集まって会議ができない事への対応（代替職員の手当、補助の検討）
- ・月ごとの給付となる、施設給付の事務量の増加に対する対応（事務職員給付の検討）
- ・現2歳児の新制度でのデメリット
（一時預かり事業で対応）
- ・一時預かりの日数制限はない
- ・保護者に向け「新制度の案内書」は現在進行中
（8月には／文科省）
- ・保護者の保育料の負担は応能負担

等、多くの質問、意見が出され、同席いただいた横田愛文科省幼児教育課課長補佐には丁寧にお応えいただきました。



園運営の重要な柱 主任・リーダーのための研修は今年3年目

2014年 主任・リーダー研修

2014年3月25日～26日 ©ルビノ京都堀川

今回で3回目の開催となる「主任・リーダー研修」には今年も43名の先生方が参加されました。現役の総主任、学年主任や新年度より主任になられる先生方など園によってそれぞれ任される仕事の範囲に違いはありながらも園運営には欠かせない大切な役割を担う役職としてこの研修会では幅広い分野での講義によって知見を深め、同じ立場での課題認識や情報交換が活発に行われました。

「設置者・園長・後継者研修」・「教員研修」・「新任教師ゼミナール」と合同で行われた特別講演、基調講演、実践発表終了後、部屋を移動して「主任・リーダー研修」が始まりました。

1日目夕食後の研修は大阪の梅花女子大学心理こども学部こども学科准教授の廣瀬聡弥先生に「ベテラン、熟練、エキスパート…経験豊富がよい先生？」



廣瀬聡弥先生／梅花女子大学

をテーマに講義をしていただきました。

2日目の午前中は「主任だからこそ身につけたい！近道 敬語講座」のテーマでビジネスマナー講師の藤村純子先生による研修が行われました。主任は保護者にとって相談事の窓口であり、園長と担任教諭の架け橋役でもあり信頼関係を築くために必要

な印象の整え方や話し方、表情や態度の作り方、敬語トレーニングなど、3時間にわたりグループワークを交えながら実践的な研修が行われました。



主任のための敬語講座/藤村純子先生

午後からは「育てる力は能力ではなく、習慣で身に付きます」と題して、財団法人生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ孫ちょんす先生にお話をいただきました。



育てる能力/孫ちょんす先生

また、「現役主任・リーダーが語る」と題した講義では北部幼稚園（千葉県）の金井麻衣子先生と川内幼稚園（鹿児島県）の野元郁美先生に自身の経験談を発表していただきました。受講者の先生方も同じ立場の先生からの成功体験、悩み、課題などに熱心に耳を傾けられておられました。

最後に、まとめとして当会理事・やまなみ幼稚園園長の田中文昭先生から「信頼される主任・リーダーとなるためには…」とのテーマでお話をいただきました。



発表の金井麻衣子先生/北部幼稚園



発表の野元郁美先生/川内幼稚園



まとめ/信頼される主任… 田中文昭先生

今回も「主任・リーダー研修」では講師の先生方のご協力によりグループワークの時間を多く設けていただいたり、参加者による実践発表、各講座の司会など参加型の研修を多く取り入れました。経験年数に違いはあっても同じ立場である受講者同士、共通の課題認識を持つことができ、情報交換のいい機会となったのではないのでしょうか。次年度も多くの先生の参加をお待ちしております。

2014年 教員研修

2014年3月25日～26日 ©ルビノ京都堀川

教員研修では教材指導や造形あそびなど、新学期からすぐに役立つことのできる研修が行われました。

研修初日の夜は～手芸道具を使った、造形あそび～「子どもたちに作る喜びとアイデアを見つける楽しさ」をテーマに、デザイン事務所アトリエオレンジの深田友佳子先生、西岡尚子先生によるワークショップ。



西岡尚子先生・深田友佳子先生

手芸用品メーカーの(株)クロバーから提供いただいた用具を用いて毛糸でポンポン、リボンで花飾りなどを作りました。次に模様が描かれたシートをはさみで自由に切り抜き、ポンポンをアイスクリームやケーキに見立ててごっこ遊びをしたり、台紙に



造形あそび ワークショップ

リボンの花や葉っぱを飾り付け、お花畑を作ったりしました。受講した先生方からは、「作ることも楽しいし、そこからイメージを膨らませてごっこ遊びに発展していくのも楽しかった」という声がありました。

2日目は教員免許状更新講習を含め午前中に3つ、午後に2つの分科会を実施。



3歳児のあそび、スタートシリーズ活用／小林まき子先生



4・5歳児のあそび、ファーストシリーズ活用／中村真理子先生

教材指導の講座では、教材「めざましあそび」「スタートシリーズ」を小林まき子先生（当会研究部講師）、「ファーストシリーズ」を中村真理子先生（四国大学短期大学部講師、当会研究部講師）に担当いただきました。小林先生からは保育者自身が楽しく取り組める教材の保育、中村先生からは子ども

の思考の発達にはどのような経験が望ましいか、教材指導や言葉かけのポイントなどについてお話しいただきました。

教員免許状更新講習では領域「表現」分野の研修として、鈴木光男先生（東京未来大学教授）、岩田勉先生（小学館レクリエーションリーダーズクラブ代表）をお招きしました。鈴木先生は基本的な感覚が育まれる幼児期にあそびはとても重要な役割を果たしていると述べました。

岩田先生からはすぐにできる歌あそびや手あそび、2人から多人数で楽しめるコミュニケーションあそびを数多く教えていただきました。受講者は子どもになりきって楽しみ、会場は多いに盛り上がりました。



岩田勉先生

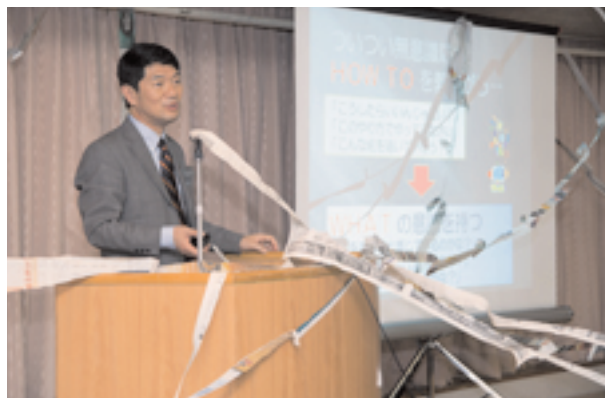


子どもになりきって／岩田先生の研修

午後は鈴木光男先生より、「ひびき、つながり、紡ぎだす 感性と創造性を育むものづくりをたのしもう！」と題して研修が行われました。鈴木先生は「今の子どもたちは人やものと真剣に向き合えない、他者と影響し影響される関係が作れない、関わりか

ら『紡ぎだす』ことが失われつつある」と指摘。造形活動では保育者は「やり方」を教えるだけでなく、子どもの感性や創造性を育むような指導が大切だと述べました。

その一例として全身で新聞紙と関わるあそびを行いました。新聞紙を何かに見立てて自由にものを作ったり、新聞紙をできるだけ長い1本の帯になるように切って、蜘蛛の巣のように部屋中のいたる所に貼り付けたりして、周りの人と関わりながら感性を響き合わせて形を作っていく体験をしました。



鈴木光男先生



大量の新聞紙で遊ぶ



会場中が蜘蛛の巣のよう／鈴木先生の研修

3日間の研修はあっというまでした

2014年 新任教師ゼミナール

2014年3月25日～27日 ©ルビノ京都堀川

本年度の新任教師ゼミナールは73名の参加者を迎え、開催いたしました。設置者・園長・後継者研修、主任・リーダー研修、教員研修とのオープニング、澤口俊之先生による特別講演、当会理事長の玉木弁立先生による基調講演ののち会場を移動し、新任ゼミナールが開会しました。開会にあたり、藤島幼稚園園長杉山聡理先生より、新任教師としてスタートされる先生方へ激励の言葉をいただき、いよいよ本格的に新任ゼミナールが始まりました。



激励のことば 杉山聡理先生

本ゼミナールでは社会人としての第一歩を踏み出す新任の先生方が園での即戦力となれるように、社会人としてのマナーや保育の心構え、新学期からすぐに役立つ、内容を体験しながら学びました。

小林まき子先生（当会研究部講師）、中村真理子先生（当会研修部講師・四国大学短期大学部講師）を中心に様々な講師の先生方に社会人として大切な事を数々お話していただきました。

実践研修では藤村純子先生（ビジネスマナー研究所主宰・接客戦略コンサルタント）による、学生と社会人の違い、社会人としてのマナーを中心に進められ、社会人一年目であるからこそその長所や基礎を培う大切さをしっかりとお話いただきました。「一年目だからこそ笑顔で！」というその言葉のとおり、どん



社会人としてのマナー研修／藤村純子先生

な時でも笑顔と元気、そして気遣いを忘れずにというメッセージをいただきました。

「楽器の扱いとリズムあそび」の研修プログラムでは講師の加藤厚司先生（幼年総合音楽あそび研究会代表）が体調を崩され、急遽、蔭山真章先生（ブレイメン音楽研究所）にお越しいただきました。

音楽指導の方法を中心に進められ、受講者の先生方に持参していただいた小楽器（カスタネットや鈴、タンバリン等）を実際に使って使用方法を学びました。

最後には『犬のおまわりさん』を全員で合奏し、一つの音楽を完成させ、先生方はとても楽しそうでした。



楽器の取扱いとリズムあそび／蔭山真章先生

鈴木光男先生（東京未来大学教授）には、遠いカンボジアでの教育の様子、そして先生自身が教育の現場で体験したエピソードから、教育現場では悩みが

つきものですがそれを上回る喜びがあり、一日一日
過ごす中で新人の先生方が輝く覚悟と生きるコツを
お話いただきました。

今回のゼミナールでも新学期からすぐに役立つ内



「新米教師が輝く覚悟と生きるコツ」／鈴木光男先生

容として「4月の幼児の姿と配慮点」「保護者への
挨拶」から実際に手遊びやゲームを全員で体験する
参加型の講義を小林まき子先生、中村真理子先生が
行ってくださいました。受講者の先生方は参加型保
育で沢山の他園の先生とお話され、意見を交換し合
いながら熱心に学び、笑顔も沢山見られました。

最終日3日目には小林まき子先生による「新4歳
児の保育」というテーマで、洛東幼稚園（京都）の
園児をお借りし、模擬保育形式での実践研修が行わ
れ、子ども達の素直な言葉や行動を学ぶ貴重な時間
をいただき、とても参考になったことと思います。

最後に「先輩からのメッセージ」として、昨年こ
の新任教師ゼミナールに参加された浜寺太陽幼稚園
、石井彩先生から受講された先生に励ましのメッ
セージをいただきました。保育の悩みや喜びを先輩
として語っていただき、受講者の先生方も真剣に耳



新任ゼミのメイン講師／小林まき子先生



新任ゼミでも活躍／中村真理子先生



先輩からのメッセージ/浜寺太陽幼稚園・石井彩先生

を傾けておられました。

そんな3日間の講義を終えて修了証を受け取る新
任の先生方の表情は受講初日よりもぐっとたのもし
く、これから“先生”としてしっかりと進んでいか
れることと思います。



当会講師と受講さ
れた先生方